

III 業績

1 兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告（水産編）44号（H27.11発行）に掲載した事項

内 容	提 供 者 名	所 属
兵庫県大阪湾・紀伊水道海域におけるオニオコゼの資源特性	五利江重昭	資源部
播磨灘の底層水温と「たこ類」漁獲量の関係	原田和弘・反田 實	資源部ほか
マダイ稚魚に発生した <i>Scytalidium infestans</i> 真菌症の発生状況と原因菌の生理学的性状	安信秀樹	増殖部
兵庫県認証食品の認知度向上のためのキャンペーン手法の検証	中桐 栄	農政環境部農政企画局消費流通課
下水処理施設の栄養塩管理運転に伴う周辺水域の溶存態無機窒素 (DIN) 濃度の動態	原田和弘・宮原一隆・近藤敬三	資源部ほか
兵庫県のマガキ養殖漁場周辺海域における表層クロロフィル <i>a</i> 濃度の統計学的分布特性と平年値	宮原一隆・原田和弘・岡本繁好・西川哲也	資源部ほか

2 外部に発表した事項

(1) 学会誌等

発表年月	内 容	雑 誌 名	提 供 者 名	所 属
H27. 6	World Squid Fisheries, <i>Thysanoteuthis rhombus</i> (Diamond Squid, Diamondback Squid)	Reviews in Fisheries Science & Aquaculture 23(2), 92-252.	宮原一隆・バウアジョンほか	資源部ほか
H27. 7	兵庫県明石海峡周辺のノリ漁場における二毛作に向けたワカメ養殖試験	藻類 63(2), 90-97.	二羽恭介	増殖部
H27. 8	窒素欠乏と添加による養殖ノリ葉状態の生理的応答	水産海洋研究 79(3), 212-213.	二羽恭介・原田和弘	増殖部・資源部
H27. 12	Proposals of a new combination and a valid name for two Bangiales taxa (Rhodophyta) used for nori cultivation in Japan	The Journal of Japanese Botany 90(6), 380-385.	菊地則雄・仲田崇志・二羽恭介	増殖部ほか
H28. 3	室内培養のフリー配偶体を用いた瀬戸内海におけるワカメの促成栽培試験	藻類 64(1), 10-18.	二羽恭介・原田和弘	増殖部・資源部
H27. 6	World Squid Fisheries, <i>Watasenia scintillans</i> (Firefly Squid)	Reviews in Fisheries Science & Aquaculture 23(2), 92-252.	南條暢聡・大谷徹也ほか	但馬水技ほか
H27. 4	Estimation the nutrient consumption by various cell sizes of the diatom <i>Eucampia zodiacus</i> : A representative organism causing bleaching of aquacultured nori	Harmful Algae 44, 32-36.	西川哲也・堀 豊	但馬水技ほか
H27.12	Potential for the suspended culture of the cockle <i>Fulvia mutica</i> at Igumi fishing port, Hyogo Prefecture, southwestern Sea of Japan	水産増殖 63(4), 475-479.	西川哲也・瓢 雄介・米澤孝康	但馬水技ほか

(2) 学会等講演会

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
H27. 6	水産業の視点からみた瀬戸内海環境の現状と課題	生態系工学研究会セミナー	反田 實	資源部ほか
H27. 9	水産業の視点から見た瀬戸内海環境	大阪工業大学 2015 年度 第 2 回環境テクノロジーフォーラム	反田 實	資源部
H27.11	水産業の視点からみた瀬戸内海環境と今後の対策の方向性	日本水環境学会関西支部講演会	反田 實	資源部ほか

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
H27. 12	40年間の水産試験場の調査研究から学んだこと～マコガレイ、イカナゴの調査研究と貧栄養化問題を通じて～	日本水産学会近畿支部後期例会	反田 實	資源部ほか
H28. 3	瀬戸内海東部海域におけるイカナゴ当歳魚の孵化時期・成長の海域間比較	平成28年度日本水産学会春季大会	高橋正知・河野悌昌・赤井紀子・深尾剛志・竹本浩之・中村行延	資源部ほか
H28. 3	マイクロサテライトDNAを用いたイカナゴ <i>Ammodytes japonicus</i> の遺伝的集団構造解析	平成28年度日本水産学会春季大会	柴田淳也・富山 毅・坂井陽一・青山 潤・田中千香也・吉永龍起・河野悌昌・高橋正知・中村行延・中井智司・奥田哲士・西嶋 涉	資源部ほか
H27. 8	播磨灘の水質環境変化による漁業生産への影響とその対策	第19回日本水環境学会ノンポイント汚染研究委員会「ワークショップin 淀川」	原田和弘	資源部
H28. 3	ノリ養殖漁場への栄養塩類供給手法の検討	日本水産学会水産環境保全委員会シンポジウム「栄養塩添加による漁場生産力の向上」	原田和弘・宮原一隆・阿保勝之	資源部ほか
H27. 5	東部瀬戸内海における植物プランクトンの基礎生産	日本地球惑星科学連合連合大会2015年大会	安佛かおり・一見和彦・山口一岩・大美博昭・秋山 諭・宮原一隆・山本昌幸・笠井亮秀	資源部ほか
H27. 11	ノリ養殖に効果的なかいりぼり時期の検討	第72回農業農村工学会京都支部研究発表会	山崎 萌・高林主佳・竹迫史裕・宮原一隆・松本文子・長野宇規	資源部ほか
H27. 7	日本における養殖ノリの品種開発の現状と今後の展望	韓国ノリ養殖シンポジウム	二羽恭介	増殖部
H27. 9	瀬戸内海におけるワカメの促成栽培試験	平成27年度日本水産学会秋季大会	二羽恭介・原田和弘	増殖部・資源部
H28. 3	大型水槽によるフリー配偶体を使ったワカメの種苗生産	平成28年度日本水産学会春季大会	二羽恭介	増殖部
H27. 5	小型トロールによるズワイガニ・アカガレイの保護育成礁の効果	平成27年度日本水産工学会春季学術講演会	三浦 浩・伊藤 靖・岡本繁好・向井哲也	但馬水技ほか
H27. 5	Long-term trends of harmful algal bloom in the Seto Inland Sea of Japan	Harmful Algal Blooms and Climate Change Scientific Symposium	今井一郎・山本圭吾・西川哲也・長井 敏	但馬水技ほか
H27. 9	日本海西部海域におけるLAMP法を併用した <i>Cochlodinium polykrikoides</i> 赤潮モニタリングの高度化	2015年度日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会	西川哲也・川村芳浩・坂本節子	但馬水技ほか
H27. 11	Identification of the firefly squid <i>Watasenia scintillans</i> by the quantitative echosounder in the southwestern Japan Sea	Cephalopod International Advisory Council 2015	松倉隆一・大谷徹也・西川哲也	但馬水技ほか
H28. 3	2015年の日本海西部海域における <i>Cochlodinium</i> 属の出現状況とLAMP法による検出結果	平成26年度日本水産学会春季大会	西川哲也・川村芳浩・鬼塚 剛・坂本節子	但馬水技ほか

(3) 研究会・資料集等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 3	播磨灘で採集されたマアナゴの葉形仔魚期から変態期における食性	マアナゴ資源と漁業の現状 第3号	宇野航平・五利江重昭・望岡典隆	資源部ほか
H28. 3	瀬戸内海東部海域におけるマアナゴの移動と成長	マアナゴ資源と漁業の現状 第3号	五利江重昭・反田 實	資源部ほか

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 3	播磨灘に加入したマアナゴ葉形仔魚の食性	マアナゴ資源と漁業の現状 第3号	宇野航平・五利江重昭・望岡典隆	資源部ほか
H27. 9	兵庫県内海における2014年および2015年の漁況	第46回瀬戸内海東部カタクチワシ等漁況予報会議報告	中村行延	資源部
H28. 3	播磨灘北東部ノリ養殖場における栄養塩管理運転(下水処理施設)および大阪湾からの栄養塩供給に関する実証試験	平成27年度漁場環境・生物多様性保全総合対策事業のうち赤潮・貧酸素水塊対策推進事業「漁場生産力向上のための漁場改善実証試験」成果報告書	原田和弘・宮原一隆	資源部
H28. 3	浅海定線観測結果	瀬戸内海ブロック平成27年度浅海定線観測等担当者会議議事録(抄)	原田和弘・中村行延・宮原一隆・長濱達章	資源部
H28. 3	魚介類の斃死原因となる有害赤潮等分布拡大防止のための発生モニタリング発生シナリオの構築 瀬戸内海東部海域	平成27年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業報告書「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」	秋山 諭・山本圭吾・池脇義弘・西岡智哉・長谷川尋士・本田恵二・山下泰司・高木秀蔵・宮原一隆・原田和弘	資源部ほか
H28. 3	ノリ色落ち珪藻の発生モニタリング、発生機構解明、予察技術開発 瀬戸内海東部海域におけるノリ色落ち原因珪藻の出現諸特性の解明と発生予察技術の開発	平成27年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業報告書「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」	秋山 諭・山本圭吾・池脇義弘・西岡智哉・長谷川尋士・本田恵二・山下泰司・高木秀蔵・宮原一隆・原田和弘・鬼塚 剛・阿保勝之	資源部ほか
H28. 3	水産業への影響について	兵庫県農政環境部環境管理局温暖化対策課監修「温暖化からひょうごを守る適応策」(県民向けパンフレット)	宮原一隆	資源部
H27. 11	ノリ養殖等の概況および試験研究項目	平成27年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議・藻類情報交換会	谷田圭亮	増殖部
H28. 3	魚介類の斃死原因となる有害赤潮等分布拡大防止のための発生モニタリングと発生シナリオの構築 日本海西部海域	平成27年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業報告書「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」	西川哲也・門脇慧史・尾田昌紀・田中 靖・松本洋典・古谷尚大・南部智秀・安成 淳・鬼塚 剛	但馬水技ほか
H28. 3	平成27年度有害生物出現調査並びに有害生物出現情報収集・解析及び情報提供委託事業調査結果報告書(データ集)	漁業情報サービスセンター	西川哲也・大谷徹也・山根靖弘	但馬水技
H27. 3	凍結アカガレイの簡易な解凍方法の検討(その2)	水産物の共同利用に関する共同研究集第56集	鈴木雅巳	北部農技・加工流通部

(4) 研究会（大会・研究会）等講演

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H27. 5	イカナゴと環境	兵庫県県漁業協同組合 連合会シートクラブ	反田 實	
H27. 5	漁業と最近の海の環境	サークルきずな	反田 實	
H27. 6	兵庫のノリ養殖と透明度の話	西脇市消費者協会	反田 實	
H27. 6	兵庫のノリ養殖と瀬戸内海の環境	東京兵庫県人会「ののの の会」平成 27 年度第 1 回勉強会	反田 實	
H27. 7	播磨灘の栄養塩環境と兵庫県漁業の実態	日本技術士会近畿本部 上下水道部会例会	反田 實	
H27. 7	兵庫のノリ養殖と瀬戸内海の環境	神戸シルバーカレッジ	反田 實	
H27. 7	瀬戸内海の環境	加古川シニアカレッジ	反田 實	
H27. 9	瀬戸内海の環境と魚	朝日親と子の自然環境 教室	反田 實	
H27.10	兵庫のノリ養殖と環境	明石市立あかねが丘学 園	反田 實	
H27.10	兵庫のノリ養殖と環境	田路区長会	反田 實	
H27.10	今、瀬戸内海で起こっていること	近江八幡水産振興協議 会	反田 實	
H27.10	瀬戸内海の環境と魚	阪神シニアカレッジ	反田 實	
H27.10	兵庫のノリ養殖と環境	筑紫が丘自治会	反田 實	
H27.11	透明度から海を考える	兵庫県立太子高校出前 授業	反田 實	
H27.11	瀬戸内海環境保全特別措置法の改正について	神戸市漁業協同組合ノ リ養殖漁期前研修会	反田 實	
H27.11	瀬戸内海の低栄養化と豊かな海	平成 27 年度瀬戸内海研 究会議 瀬戸内海の環 境保全・創造研究ワーク ショップ	反田 實	
H27.12	海の環境と魚	須磨友が丘高校出前授 業	反田 實	
H28. 1	イカナゴの資源管理について	松山市漁業連合協議会	反田 實	
H28. 2	季節の魚イカナゴ	阪神シニアカレッジマイスターゼミ	反田 實	
H28. 3	ひょうごの里海づくり	ひょうご環境体験館特 別プログラム	反田 實	
H27. 4	兵庫県内海における 2014 年および 2015 年の漁 況	第 46 回瀬戸内海東部カ タクチイワシ等漁況予 報会議	中村行延	資源部
H27.11	2015 年夏眠期の調査結果について	平成 27 年度第 2 回イカ ナゴ資源動向調査情報 交換会	中村行延	資源部
H28. 1	今年のイカナゴ親魚調査結果について	古セ操業関係組合代表 者会	中村行延	資源部
H28. 2	今年のイカナゴ調査結果について	西播磨船曳網漁業同業会 総会	中村行延	資源部
H28. 2	今年のイカナゴ調査結果について	兵庫県播磨灘船曳網漁 業連合会正副会長・行使 委員・地区代表者会議	中村行延	資源部
H28. 2	今年のイカナゴ調査結果について	大阪湾 3 地区船曳役員合 同会議	中村行延	資源部
H27. 4	播磨灘の水質環境（栄養塩）変化とノリ養殖	大輪田塾	原田和弘	資源部
H27.10	播磨灘のノリ養殖漁場における連続観測機器 を用いたモニタリング	連続観測機器を用いた 海洋環境モニタリング と有効活用に関する研 究会	原田和弘・宮原一隆	資源部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H27. 12	播磨灘のノリ養殖に与える漁場環境変化の影響とその対策	第 45 回南海・瀬戸内海 洋調査技術連絡会	原田和弘・宮原一隆	資源部
H27. 12	播磨灘のノリ養殖に与える漁場環境変化の影響とその対策	下水放流水に含まれる 栄養塩類の能動的管理 ナレッジ共有会議	原田和弘	資源部
H28. 1	播磨灘のノリ養殖漁場における硝酸塩センサーを用いた連続観測	瀬戸内海における栄養 塩等に関する情報交換 会	原田和弘・宮原一隆	資源部
H28. 2	播磨灘北東部ノリ養殖場における栄養塩管理 運転（下水処理施設）および大阪湾からの栄養 塩供給に関する実証試験	平成 27 年度第 2 回漁場 生産力向上のための漁 場改善実証試験事業推 進委員会	原田和弘・宮原一隆	資源部
H27. 5	最近の赤潮発生状況について	赤潮対策連絡会議幹事 会	宮原一隆	資源部
H27. 5	珪藻赤潮について	赤潮対策連絡会議幹事 会	宮原一隆	資源部
H27. 9	瀬戸内海における有害赤潮の発生と栄養塩お よび微量金属の分布	平成 27 年度瀬戸内海研 究フォーラム in 奈良	谷口 典・宮原一隆・ 阿部和雄・坂本節子・ 内藤佳奈子	資源部ほか
H27. 12	兵庫県における赤潮・貝毒の発生状況	平成 27 年度漁場環境保 全関係研究開発推進特 別部会赤潮貝毒部会	宮原一隆	資源部
H28. 1	平成 27 年度ノリ漁期における <i>Eucampia</i> <i>zodiacus</i> の発生予察とその他の情報	養殖ノリの色落ち中期 予測等情報交換会	宮原一隆	資源部
H28. 3	魚介類の斃死原因となる有害赤潮等分布拡大 防止のための発生モニタリング発生シナリオ の構築 瀬戸内海東部海域	平成 27 年度漁場環境・ 生物多様性保全総合対 策委託事業 赤潮・貧酸 素水塊漁業被害防止対 策事業「瀬戸内海等での 有害赤潮発生機構解明 と予察・被害防止等技術 開発」結果検討会	秋山 諭・山本圭吾・ 池脇義弘・西岡智哉・ 長谷川尋士・本田恵 二・山下泰司・高木秀 蔵・宮原一隆・原田和 弘	資源部ほか
H28. 3	ノリ色落ち珪藻の発生モニタリング、発生機構 解明、予察技術開発 瀬戸内海東部海域におけ るノリ色落ち原因珪藻の出現諸特性の解明と 発生予察技術の開発	平成 27 年度漁場環境・ 生物多様性保全総合対 策委託事業 赤潮・貧酸 素水塊漁業被害防止対 策事業「瀬戸内海等での 有害赤潮発生機構解明 と予察・被害防止等技術 開発」結果検討会	秋山 諭・山本圭吾・ 池脇義弘・西岡智哉・ 長谷川尋士・本田恵 二・山下泰司・高木秀 蔵・宮原一隆・原田和 弘・鬼塚 剛・阿保勝 之	資源部ほか
H27. 7	かきのおはなし	相生小学校環境学習	谷田圭亮	増殖部
H27. 7	天然採苗講習会	赤穂市漁協坂越支所	谷田圭亮	増殖部
H27. 11	ノリ養殖漁期前研修「平成 27 年度の育苗状況 と今後の漁場環境」	神戸市漁協	谷田圭亮	増殖部
H28. 1	カキ養殖について	相生小学校環境学習	谷田圭亮	増殖部
H27. 10	平成 26 年 8 月～平成 27 年 7 月魚病発生状況	平成 27 年度瀬戸内海・四 国ブロック魚病検討会	川村芳浩	増殖部
H27. 10	採卵中に死亡したオニオコゼ親魚の RSIV 検査	平成 27 年度瀬戸内海・四 国ブロック魚病検討会	川村芳浩	増殖部
H27. 10	平成 26 年度及び平成 27 年度上半期・魚病診断 状況	平成 27 年度(第 17 回)西 部日本海ブロック魚類 防疫対策協議会	川村芳浩	増殖部
H27. 10	ヒラメの <i>Kudoa septempunctata</i> 検査—LAMP 法による検査の可能性—	平成 27 年度(第 17 回)西 部日本海ブロック魚類 防疫対策協議会	川村芳浩	増殖部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 1	平成 27 年度キジハタ種苗生産・中間育成試験結果	平成 27 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議増殖部会キジハタ分科会	川村芳浩	増殖部
H28. 1	魚病発生状況等について	平成 27 年度魚病・水産用医薬品講習会	川村芳浩	増殖部
H27. 5	ワカメ種苗生産講習会	南あわじ漁協	二羽恭介	増殖部
H27. 6	インスパイア・ハイスクール事業連携講義「ノリの不思議な生態と遺伝現象」	県立星陵高等学校生命科学類型 2 年生	二羽恭介	増殖部
H27. 6	海藻養殖における二毛作試験	愛知県東三河漁協青年部	二羽恭介	増殖部
H27. 7	瀬戸内海におけるノリの病障害	全国ノリ研究会	二羽恭介	増殖部
H27. 7	養殖ノリの野外養殖試験	明石浦漁協のり研究会	二羽恭介	増殖部
H27. 6	アサリの垂下養殖	東三河漁協青年部連絡協議会教育研修	安信秀樹	増殖部
H27. 6	魚病に関する情報交換 PCR 法によるイクチオボド分布調査	平成 27 年度全国養鱒技術協議会魚病対策研究部会	増田恵一	内水面
H27. 9	兵庫県内水面養殖における魚病診断件数の推移 PCR 法によるイクチオボド分布調査について	第 29 回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会	増田恵一	内水面
H28. 2	平成 26 年度のニジマス魚病発生状況について	平成 28 年度ニジマス魚病防疫講習会	増田恵一	内水面
H27. 7	但馬の魚 ～底魚を中心に～	平成 27 年度生活研究グループ但馬大会	大谷徹也	但馬水技
H27. 7	新型曳網（S T 型曳網）実証化試験Ⅱ	第 5 回西日本底びき網漁業勉強会	北岡 宏・福元博貴・江熊勇揮・大谷徹也・尾崎爲雄・藤井一也・伊藤翔・白曼大翔	但馬水技ほか
H27. 7	ズワイガニ漁況と調査結果の概要	平成 27 年度ズワイガニ研究協議会	大谷徹也	但馬水技
H27. 7	平成 27 年度ベニズワイ資源調査結果と資源管理の方向性	平成 27 年度兵庫県ベニズワイかにかご漁業協会通常総会	大谷徹也・山根靖弘・尾崎爲雄	但馬水技
H27. 8	平成 27 年度底びき漁期前調査結果	平成 27 年度底びき漁期前調査結果説明会	大谷徹也・尾崎爲雄	但馬水技
H27. 10	平成 26 年漁期のアカガレイ漁況と資源調査結果の概要・平成 26 年漁期のズワイガニ漁況と調査結果の概要	平成 27 年度広域資源管理検討協議会	大谷徹也	但馬水技
H28. 2	但馬で漁獲されている海藻について	JF 但馬漁協竹野支所浅海部総会	岡本繁好	但馬水技
H27. 7	漁業調査船「たじま」による沖合底びき網調査の事例紹介ーホタルイカは計量魚探にどのように映るかー	兵庫県機船底曳網漁撈長会	西川哲也	但馬水技
H27. 11	日本海西部海域における衛星情報の活用事例	第 4 回衛星情報の高度利用に関する情報連絡会	西川哲也	但馬水技
H28. 2	2006 年以降の兵庫県海域における大型クラゲの来遊状況と来遊予測の可能性	平成 27 年度調査推進検討会（大型クラゲ）	西川哲也	但馬水技
H27. 3	凍結アカガレイの簡易な解凍方法の検討（その 2）	第 63 回日本海水産物利用担当者会議	鈴木雅巳	北部農技・加工流通部

(5) ニュース・情報誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H27. 6	今漁期の問題点と今後の対応 (瀬戸内地区)	海苔タイムス 2172 号	谷田圭亮	増殖部
H27. 10	来る漁期の生産対策 (瀬戸内地区)	海苔タイムス 2183 号	谷田圭亮	増殖部
H27. 11	病障害の現状と課題の整理 共通病障害と瀬戸内 1	海苔タイムス 2186 号	藤吉栄次・二羽恭介	増殖部ほか
H27. 11	病障害の現状と課題の整理 共通病障害と瀬戸内 2	海苔タイムス 2187 号	藤吉栄次・二羽恭介	増殖部ほか

(6) センターだより

名 称	号数	提 供 者 名	所 属
水産技術センターだより			
漁海況情報	12	長濱達章	資源部
漁場環境情報	12	原田和弘・宮原一隆	資源部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 (播磨灘)	7	中村行延	資源部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 (大阪湾・紀伊水道)	3	中村行延	資源部
イカナゴ親魚、稚仔分布調査結果	2	中村行延	資源部
イカナゴ漁況予報	1	中村行延	資源部
水温観測情報	52	内田健二	資源部
貝毒情報	16	宮原一隆・内田健二	資源部
赤潮情報	17	宮原一隆・内田健二	資源部
珪藻赤潮情報 (播磨灘)	15	原田和弘・宮原一隆・小田垣 寧・のり研究所	資源部・のり研究所
珪藻赤潮情報 (大阪湾)	7	谷田圭亮・二羽恭介・小田垣 寧・のり研究所	増殖部・資源部・のり研究所
カキ漁場環境情報	16	谷田圭亮・宮原一隆	増殖部・資源部
但馬水産技術センターだより	24	西川哲也・大谷徹也	但馬水技
漁況速報	52	西川哲也	但馬水技
イカ漁況日報	166	西川哲也	但馬水技

(7) 雑誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 3	瀬戸内の水産資源の変動を見る	瀬戸内海 71 号	反田 實	
H27. 6	養殖ノリ葉状体の窒素欠乏と添加に対する生理的応答	海洋と生物 第 37 巻 3 号	二羽恭介・原田和弘	増殖部・資源部

(8) 技術書籍等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 2	有害有毒プランクトンの科学 (分担執筆)	恒星社厚生閣	西川哲也	但馬水技

(9) 新聞

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H27. 4 ~H28. 3	海の天気図 浜だより (期間中計 7 回担当)	日本海新聞	西川哲也	但馬水技
H28. 2	兵庫・香住沖のハタハタ (関西食百景)	神戸新聞	大谷徹也	但馬水技

(10) テレビ・ラジオ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H27. 9	四国羅針盤 失われる豊かな海~瀬戸内海の異変~	NHK テレビ高松放送局	反田 實	

(11) インターネット・ホームページ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H27	私の試験研究 役に立つカラフルなノリ	兵庫県立農林水産技術総合センター	二羽恭介	増殖部
H27	センター雑感 さかな屋さんのひとりごと	兵庫県立農林水産技術総合センター	森 俊郎	但馬水技

3 見学会及び研究発表会

(1) 見学会

ア 日 時

平成27年8月11日9時30分～12時

イ 場 所

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター

ウ 内 容

顕微鏡観察、魚拓製作、煮干しの解剖、魚とのふれあいプール、ミニ見学コース等

(2) 研究発表会

ア 日 時

平成27年8月11日14時～16時15分

イ 場 所

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター漁業研修館2階大研修室

ウ 課 題

兵庫県大阪湾・紀伊水道におけるオニオコゼの資源特性と資源管理について

(発表者：水産技術センター資源部主席研究員 五利江重昭)

兵庫県における溪流魚発眼卵放流について

(発表者：内水面漁業センター主席研究員 増田恵一)

漁協青壮年部による水産教室の取り組み

(発表者：浜坂漁業協同組合青壮年部 浜根秀樹)

沼島の活性化の取り組みについて

(発表者：沼島漁業協同組合女性部 中元はるみ)

アサリの養殖について

(発表者：水産技術センター増殖部主席研究員 安信秀樹)

4 特許出願及び登録状況

【国特許】

職務 発明	提出年月日 認定年月日	特許 登録	出願年月日 登録年月日	内 容	備 考
	H10. 7. 17 H11. 2. 24		H11. 3. 16 H20. 3. 6	ホタルイカの眼球除去具及びこれを用いた眼球除去装置	H12. 9. 26 出願公開 H18. 2. 21 審査請求
	H11. 8. 9 H11. 10. 26		H11. 8. 9 H19. 12. 14	軟弱魚の冷凍保存方法及びこれを用いた佃煮の製造方法	H13. 2. 20 出願公開 H18. 8. 4 審査請求
	H13. 12. 25 H14. 6. 10		H13. 7. 16	灰干しわかめ用の疑似灰	H14. 11. 5 出願公開 H20. 7. 17 審査請求 取り下げ
	H17. 1. 21 H17. 2. 25		H18. 5. 18 H23. 12. 2	水産加工残さを用いた漁業用餌料の製造方法	H19. 11. 29 出願公開 H20. 3. 9 審査請求
	H21. 4. 3 H21. 5. 18		H21. 6. 1 H24. 4. 4	養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	H21. 11. 30 出願公表
	H22. 10. 22 H22. 10. 25		H23. 1. 31 H25. 7. 12	バラ干し海苔の製造方法	H23. 2. 21 審査請求 H24. 8. 24 特許公開
	H27. 4. 13 H27. 5. 20		H27. 10. 15	カキの採苗器	

発明（出願特許）の概要

発 明 の 名 称	発 明 の 概 要
ホタルイカの眼球除去具及びこれを用いた眼球除去装置	ホタルイカの眼球を能率良く除去することができるホタルイカの眼球除去具及びこれを用いた眼球除去装置を提供する。 閉脚状態から開脚状態に弾性的に変形可能な双脚分の先端に、ホタルイカの頭部に押しつける押圧部を設けた。押圧部をホタルイカの頭部に押しつけることにより、当該頭部から1対の眼球を押し出し、この押し出した眼球を双脚分の開脚に伴って頭部から切り離す。
軟弱魚の冷凍保存方法及びこれを用いた佃煮の製造方法	解凍時に腹切れや身崩れなどの品質低下を起こし難い軟弱魚の冷凍保存方法及びこれを用いた佃煮の製造方法を提供する。 軟弱魚に有機酸塩と糖類を含浸させた後、当該軟弱魚を冷凍する。この冷凍された軟弱魚を自然解凍した後、糖分を含む調味液に入れて煮熟する。
灰干しわかめ用の疑似灰	従来の木灰に比べて全く遜色のない性状を有する灰干しわかめ用の疑似灰を提供する。 粉炭からなる黒色粉末と、穀類、根菜類、セルロース、カルシウム及び不溶性鉱物性物質から選択される1種または2種以上からなる白色粉末と、アルカリ剤とを混合して、灰色にてアルカリ性を示す粉末とした。
水産加工残さを用いた漁業用餌料の製造方法	水産加工場から排出される加工残さを加熱・破碎・濃縮・成型し、低コストで漁業用餌料にする処理方法を提供する。 数種類の水産加工残さを一定の割合で混合して加熱・破碎・濃縮し、水分活性を調整することで保存性を高めるとともに、混合割合と水分量を調整し残さだけで成型できることを特徴とする水産加工残さの有効利用方法と漁業用餌料の製造方法。
養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	成熟は晩熟で、生長が速く、葉形は線形である。色調は色調低下時に黒い傾向がある。兵庫本来の「色・艶」を兼ね備えており、県産ノリの用途として主力である業務用ノリに適した特性を有している。
バラ干し海苔の製造方法	バラ干し海苔の色の見た目の色の改善を図り、長期間冷凍保存をしても品質や鮮度が劣化しないバラ干し海苔の製造方法を提供する。 バラ干し海苔の製造方法は、採集した原藻を熱湯に浸漬し湯引き工程、次に、脱水工程、その後、乾燥工程、から成る。これに加えて、原藻を湯引き後に凍結保存を行うことにより、原料として長期保存が可能となり、時期・量を問わずバラ干し海苔を供給できる。本バラ干し海苔の製造方法によれば、バラ干し海苔の保存性や風味を向上できる。

発明の名称	発明の概要
カキの採苗器	本県で開発したアサリの中間育成カゴのフタの裏側に著しく天然カキが付着することに着眼し、フタとメッシュの部分を取り出したもの。メッシュ状の開口部を有するプラスチック製の板とメッシュシートの組み合わせによって形成される空間において、侵入してきた浮遊幼生が主にプラスチック製の板に付着する現象が確認できた。この板はポリエチレン製で、目合い1cmのメッシュとなっており、容易に変形することができるため、付着したカキ種苗を剥離することが容易で、シングルシードカキとしての種苗化が可能である。また、プラスチック製の板とメッシュシートで形成された幅の狭い場所で付着することで、甲殻類や魚類による食害も防止できる利点がある。

5 学位・表彰等

◎表彰名 農業農村工学会京都支部賞（研究奨励賞）

業績名 ノリ養殖に効果的なカキいぼり時期の検討

取得者氏名 山崎 萌・高林主佳・竹迫史裕・宮原一隆・松本文子・長野宇規

年 月 日 平成28年1月28日

6 研究員の派遣

なし。

7 研修生・見学者の受け入れ

(1) 一般研修生の受け入れ

氏名	所属	研修課題	期間	受け入れ部門
坂本理佳	茨城市教育委員会	社会体験学習	H27.8.11、13 (2日)	内水面
佐野高典ほか11名	大津市漁業振興対策協議会	視察研修	H27.11.19	内水面
太田洋二ほか3名	新温泉町役場	内水面漁業研修	H28.1.7	内水面

(2) トライやるウィーク体験事業

氏名	研修課題	期間	受け入れ部門
錦城中学校1名・朝霧中学校1名・大蔵中学校1名・野々池中学校1名・大久保北中学校1名・高丘中学校1名・江井島中学校1名・魚住東中学校1名計8名	展示魚採集、魚の解剖、ノリのDNA抽出実験、鱗と耳石の観察ほか	H27.6.1～6.5 (5日間)	資源部、増殖部
朝来中学校4名	飼育水槽清掃、給餌、展示魚等採集、魚解剖、魚ペーパークラフト製作、魚調理実習 川虫採りほか	H27.6.1～6.5 (5日間)	内水面
青垣中学校2名	魚解剖、魚ペーパークラフト製作	H27.6.3(1日)	内水面
香住第一中学校5名・浜坂中学校5名	生物測定、加工試験、官能検査、サザエ選別・給餌、網いけす作成、プランクトン採集・観察、かまこご調査準備作業	H27.6.1～6.5 (5日間)	但馬水技、北部農業・加工流通部

(3) 受託研修・国際交流課からの依頼による研修の受け入れ

なし。

(4) 見学者の受け入れ

【水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業	学校	行政	一般
			関係	関係	関係	県民
H27. 4	2	4	0	3	0	1
5	6	208	12	196	0	0
6	10	496	283	121	7	85
7	11	132	20	67	0	45
8	21	332	59	71	48	154
9	15	780	0	746	0	34
10	25	1,799	13	1,733	0	53
11	8	423	0	359	0	64
12	4	151	0	68	40	43
H28. 1	4	276	0	248	8	20
2	8	362	149	201	12	0
3	3	225	0	212	13	0
合計	117	5,188	536	4,025	128	499

【内水面漁業センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業	学校	行政	一般
			関係	関係	関係	県民
H27. 4	38	77	36	9	7	25
5	36	118	4	83	5	26
6	45	108	6	53	5	44
7	31	162	1	123	7	31
8	34	82	0	2	0	80
9	21	84	2	48	2	32
10	31	168	3	89	5	71
11	37	168	15	26	4	123
12	21	76	0	7	6	63
H28. 1	26	42	5	0	2	35
2	17	18	1	0	3	14
3	39	64	4	0	6	54
合計	376	1,167	77	440	52	598

【但馬水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業	学校	行政	一般
			関係	関係	関係	県民
H27. 4	1	30	0	0	0	30
5	1	46	0	46	0	0
6	1	20	0	0	0	20
7	5	66	56	10	0	0
8	1	30	30	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0
10	1	60	0	0	0	60
11	3	57	10	0	2	55
12	0	0	0	0	0	0
H28. 1	0	0	0	0	0	0
2	1	35	0	0	0	35
3	0	0	0	0	0	0
合計	14	344	96	56	2	190

【但馬水産技術センター】

(北部農業技術センター農業・加工流通部 担当分)

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業	学校	行政	一般
			関係	関係	関係	県民
H27. 4	14	14	14	0	0	0
5	2	2	2	0	0	0
6	1	11	0	11	0	0
7	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0
9	3	16	8	0	4	4
10	2	2	0	0	0	2
11	3	8	2	0	4	2
12	2	12	0	5	1	6
H28. 1	2	13	2	0	5	6
2	3	17	5	0	12	0
3	0	0	1	0	0	0
合計	32	95	44	16	26	20

(加工相談のうち来訪、研修分)

8 資格・認定研修への講師派遣

なし。

9 その他 (出版物等)

平成 26 年度 (2014 年度) 兵庫県立農林水産技術総合センター年報 (水産編)

兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告 (水産編) 第 44 号

平成 27 年度研究成果紹介パネル 「陸域からの栄養塩供給とノリ養殖」

